

令和7年度

未来へつむぐ 家族の手紙 ～家族部門～

大募集

募集期間

6/2～9/8
月 月

家族で話しているか？
「今、思っていること」「今、聞いてほしいこと」
「普段、なかなか言えないこと」「今だから言えること」
などを手紙に書いてみませんか。

平成10年度より27年間続いてきた親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」。今までにのべ45万2194家族からの応募がありました。今後も、多くの方が家族のことに思いを馳せる時間をもち、石川の家族があたたかな未来をつむいでいくことを願い、今年度、「未来へつむぐ家族の手紙」へと生まれ変わります。

震災後家族に支えられながら、
「大切なものはそばにある」と痛感しました。
今は登校時の元気なデカイ後ろ姿、
帰宅時の丸い笑顔が日常の幸せをくれます。
生きようとすると力ある限り生きますよ。
命守って生きる力を大切に。
秀虎も

川端 玲子(祖母)

能登半島地震から半年ほど経ちました。
もしかしたら僕達は
死んでいたかもしれない。
けどおばあちゃんが生きてくれた。
おいしい朝ごはんも
朝の見送りもなかったかもしれない。
家族の為に生きてくれてありがとう。
秀虎(中2) 珠洲市)

パパは単身赴任になっても、
石川県の天気を見ているよ。
今日は雨や雪で集団登校大変じゃなかった。
平日は一緒に遊べないけど、
週末は家族でたくさん遊ぼう。
次の週末はどこに行こうかな？
こまち、大好きだよ。
堀名 治喜(父)

パパがたんしんぶんになんて、
岐阜の天気予報やニュースを見るようになったよ。
岐阜という漢字は
テストでも一回もまちがえてないよ。
パパがいよいよ平日はすびしいけど、
週末は楽しみです。
岐阜でも仕事がんばってね。
堀名 心待(小4) 小松市)

令和6年度優秀賞作品より

内容

家庭のあたたかさ、家族の会話の大切さ、心のかよう家族づくりをイメージさせる内容の手紙



応募資格

県内在住の小・中学校の児童・生徒とその家族



応募方法

- この応募用紙に記入の上、封筒に入れて郵送してください。
- 複数の手紙を封筒にまとめて入れて郵送で提出することもできます。

応募規定

- 手紙は、それぞれ100字以内で書いてください。(「,」「。」や「」も1字に数えます。)
- 作品は自作未発表のものに限ります。盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。

審査・表彰

- 審査の上、入賞作品(優秀賞・優良賞・佳作)を選定します。
- 入賞者には表彰状を渡します。
- 優秀賞の副賞は図書カードです。



作品の取り扱い

- 入賞作品の著作権は、心の教育推進協議会に帰属します。
- 優秀賞作品は、作品集にまとめ、発表します。
- 応募作品は、原則として返却しません。
- 記載された個人情報、本事業においてのみ使用します。



